

民主化闘争情報

No. 870
2012年11月6日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

5月～9月に新規採用者2名を含む6名の組織拡大を果たしたJR北労組は、10月22日、11月1日に自動車支部で一挙3名の加入を果たした。

JR北労組自動車支部で 26歳の青年を含む3名が加入！

新たに加入した3名は、手稲分会2名、札幌分会1名だが、自動車支部は7月加入の2名に続いての組織拡大となった。

JR北労組は、「結婚式に職場の仲間を招待出来ず、苦悩しているJR総連・北鉄労組員が大勢いる。平和共存否定方針の矛盾に我慢している北鉄労組員への加入を大胆に呼びかけ、組織拡大を実現しよう」と各級機関に呼びかけている。

組織拡大が続くJR北労組！一気果敢に組織拡大を図ろう！！

JR北労組は、9月14日、JR総連・北鉄労を脱退し加入した永桶さん、新規採用者で加入した高橋さんの歓迎会を苗穂工場支部組合員を中心に約80名参加のもと開催した。

永桶さん、高橋さんの力強い決意表明を受け、さらなる組織拡大の決意を新たにした直後の今回の自動車支部の組織拡大であり、組織拡大が相次ぐ貨物鉄産労とともに、民主化闘争の完遂にむけて大きく前進している。

JR連合・ロジ労組「闘争積立金返還訴訟」第1回口頭弁論が 開かれる。窮地に追い込まれるJR総連・貨物労連！

JR総連・貨物労連傘下の日本フレートライナー労組（FL労組）の非民主的組織運営かつ不明朗な財政運営と決別して昨年5月に結成された、JR連合・FLユニオン（現・南関東ロジ労組）の組合員等75人が、9月12日、FL労組を相手に闘争積立金の返還を求めて東京地裁に提訴し、第1回口頭弁論が10月22日に開かれた。FL労組は平成5年11月から毎月300円の闘争資金を徴収。組合員個人の積立預託金である闘争資金は、最高裁判例からみても、脱退を含めて組合員資格を喪失した時は、その全額を返還しなければならないことは明らかだ。

JR総連・日貨労は、相も変わらず、FL労組への「組織破壊攻撃」と騒いでいるが、どちらが正当な主張をしているか、組合員はよくわかっている。8月27日には「JR連合国会議員懇談会」による、JR貨物の瓦礫輸送視察（東京貨物ターミナル）を行ったが、JR連合が行う様々なJR貨物支援に、JR総連・日貨労、FL労組組合員からも感謝の声が挙がっているようだ。組合員の声に真摯に耳を傾けてはどうだろうか。

JRグループに働く組合員の幸せのためにも、JR連合に総結集しよう！